

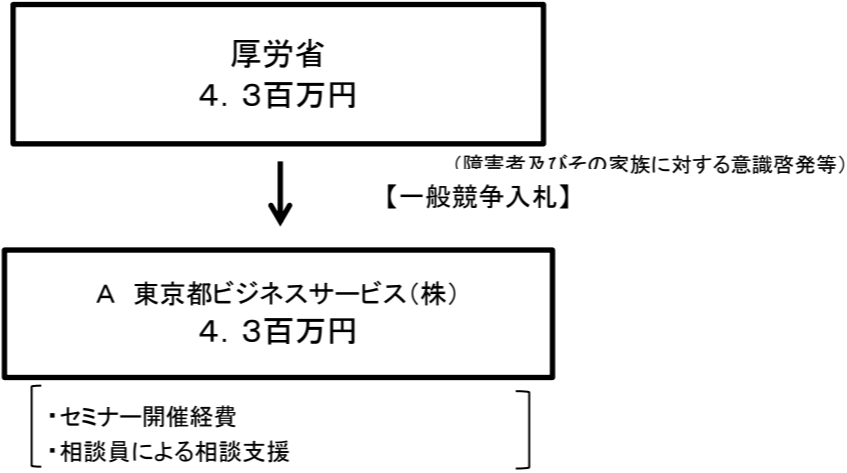
平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	働く障害者からのメッセージ発信事業			担当部局庁	職業安定局雇用開発部		作成責任者	
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域就労支援室		地域就労支援室長 畑俊一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者、その家族等に対して就労への理解を深めるため、民間団体に委託し、障害者本人及び家族等を対象とした講習会などを実施し、働く障害者を支援するネットワークを構築、強化するとともに、関係者等の障害者雇用の意識を改革し、もって障害者の職業的自立を促進する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	障害者本人、家族等を対象とした講習会や職業的自立に向けた講習会、経験交流会の開催、メッセージ集の作成・配布、ピアカウンセラーによる相談等を行うことにより、障害者又はその家族、支援関係者の「働く」ことへの理解を深め、障害者の職業的自立を促進する。平成26年度をもって「働く知的障害者からのメッセージ発信事業」及び「働く身体障害者からのメッセージ発信事業」を終了。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	22	19	21	9		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	22	19	21	9	0	
	執行額	14	13	13				
執行率(%)	64%	68%	62%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	セミナー参加者数 500人以上	セミナー参加者数	成果実績	人	1,504	1,494	560	
			目標値	人	1,400	1,400	1,500	500
			達成度	%	107%	106%	37%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	セミナー開催件数 6件	活動実績	件	13	12	13		
		当初見込み	件	12	12	13	6	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X=執行額(百万円)/Y=セミナー開催件数	単位当たりコスト	百万円	1.1	1.1	1	1.5	
		計算式	/	14百万円/13回	13百万円/12回	13百万円/13回	9百万円/6回	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	委託費	9						
	計	9	0					

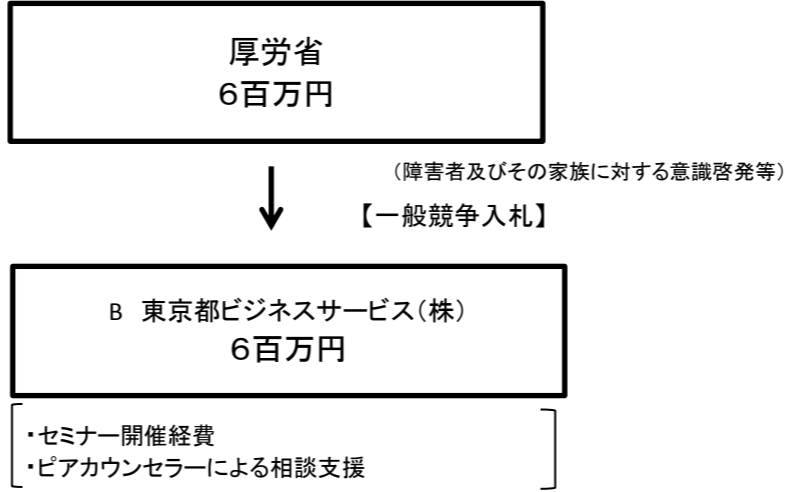
事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点に、広く国民ニーズが高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、障害者雇用の促進に向けて、障害者本人をはじめ、その家族や支援者に対して、「働くこと」の理解促進を図り、もって社会全体として障害者雇用の機運を高めるものであるため、民間団体の活用を図りつつ、国が主体となって実施すべき。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、広く国民ニーズ及び優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を実施	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札を実施することによりコストの削減に努めており、必要最低限の経費であるので、水準も妥当と考える	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	セミナー開催経費等に限定している	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	受託者において、セミナー会場借り上げ経費等が当初予定より安価に抑えられたことにより、執行額が予算額を下回ったため	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	平成27年度においては、障害種別を精神障害者のみに絞り込む等、コスト削減や効率化を図っている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		×	セミナーの開催に係る周知期間が短かったことや他のセミナーと開催時期が重なってしまったこと等により、セミナー参加者を集めることができず、目標を下回ることとなった。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	26年度は、セミナー開催件数13件の見込みに対して13件の活動実績である	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度は周知期間が短かったことや他のセミナーと開催時期が重なってしまったこと等により、セミナー参加者の数が目標を下回ったが、出席者へのアンケートによるセミナーの印象は「良かった」、「どちらかと言えばよかった」という意見が90%以上を占めており、障害者、その家族等に対する就労への理解促進に資するものとなっている。			
	改善の方向性	本事業は平成26年度までは、知的・精神・身体3つの障害種別でそれぞれ事業を実施していたが、平成27年度からは「働く精神障害者からのメッセージ発信事業」1つに絞り、受託者からの実施状況報告による進捗把握や集客状況等を適切に把握するとともに、委託要綱において実施結果に応じた措置を図ること等により適切に事業を実施する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度		平成23年度	332	平成24年度	287
平成25年度	517	平成26年度	520		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

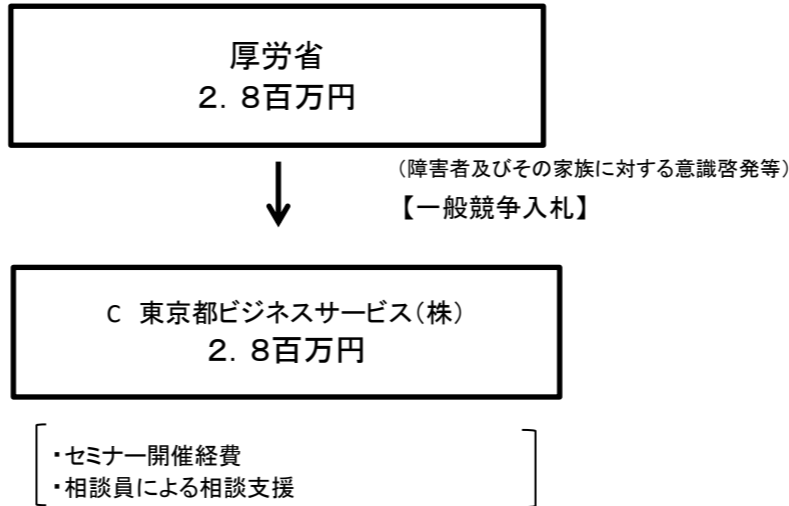
(働く知的障害者からのメッセージ発信事業)



(働く精神障害者からのメッセージ発信事業)



(働く身体障害者からのメッセージ発信事業)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	セミナーの開催、相談員による相談支援、企画委員会の開催	4.3			
計		4.3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	セミナーの開催、ピアカウンセラーによる相談支援、企画委員会の開催	6			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	セミナーの開催、相談員による相談支援、企画委員会の開催	2.8			
計		2.8	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都ビジネスサービス(株)	働く知的障害者からのメッセージ発信事業	4.32		57.2%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都ビジネスサービス(株)	働く精神障害者からのメッセージ発信事業	6.4		66.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都ビジネスサービス(株)	働く知的障害者からのメッセージ発信事業	2.82		80.6%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					